# 様式1 安全・環境・品質ヒヤリハット・キガカリカード

## 【概要】

部署	名:	記載者:
ť	いつ・どこで	場所:
作業者記入欄	どんなことが ありましたか	業務部員/ が会社での用が済み帰宅するために、 工場前の道を 方向に車を走らせました。 を通過した交差点で右側 方向から来た車が一旦停止していたため、道路のやや左側寄りに車をよせて徐行走行した。交差点を通過した後の左側民家(玄関から道路までの距離がほとんど無い)から人が突然出てきてヒヤリ〈ビックリ〉としました。徐行運転していて良かった。

## 【重要度ランク】※OMRでランク決定、統合管理委員会で確認とする

重要度		A: 大きな事故につながるもの	⇒	MRコメント・直ちに是正する
ランク	Α	B:問題点のある箇所で是正が必要なもの	$\Rightarrow$	是正が必要
確認欄		C:軽微な問題点、改善につながるもの	⇒	項目をすべて公表、見える化する

#### [ 原 因 ] ※ ランクA. Bのみ以下記載

1	品質に問題があった	•••		
2	環境に問題があった	•••		
3	設備・機器等に問題があった	•••		
4	作業方法に問題があった	•••		
(5)	自分自身に問題があった  1. よく見えなかった・聞こえ  4. 知らなかった  7. あわてていた  10. 無意識に(手が)動いた  12. 体のバランスをくずした  15. 過信していた  18. 甘く見ていた  ※ あなたが経験した動作ミスや  ※ 該当すると思われるものはい	とヤリにつし	2. 気がつかなかった 3. 忘れていた 5. 深く考えていなかった 6. 大丈夫だと思っ 8. 不愉快なことがあった 9. 疲れていた 11. やりにくかった(むずかしかった) 13. 考え事をしていた 14. 体調が悪かった 16. 教わっていなかった 17. 初めての作業だ 19. その他 て上記項目から選び出し数字を記載してください。 いません。	,

### 【 是 正 処 置 】※ ランクA. Bのみ以下記載

このヒヤリ・ハット 災害の除去対策 (ランクA, B記載)	従来からのルール通り、下記を再認識し、継続実行する。 ※「から国道 までの間は徐行運転とする」
MRコメント: エ	場から南下する道は    を過ぎると道幅も狭くなり、民家も建て込ん
でいます。このような道	を通行するときは、常に徐行するようにしてください。各工場(サイト)の管
理者は 工場の	から国道までのの間は徐行運転するよう指導願います。
	(ランクA記載)
妥当性の確認: 本件に関し、	、部門内での再認識のための教育を実施(8/30)し、記録票を発行しました。
(教12-05)	また、本件は上記のルールを守っての運転をしていた結果、事故予防が図れたこ
とから予防	処置票の起票を行ないます。
(ランクA, B記載)	
	妥当性の確認:

整理No. (記入不要)

## ヒヤリ・ハットカード

安全衛生委員会

作成日	<del></del> 年	月	日	職場名	G	Т	作成者	
		Access to the control of					1	

#### 目的 实施方法

安全衛生活動の一環として、<u>『ヒヤリ・ハット改善活動』</u>を実施します。<u>事故や災害の一歩手前で済んだけれどヒヤリとしたこと、ハットした発見・経験・気がかりなこと</u>を作成して下さい。なお、これにより不利益な扱いを受けたり、<u>個人の責任を追及するものではありませんので、安心して作成して下さい。</u>

- ①作成対象⇒**全従業員、**協力会社従業員
- ②ヒヤリ・ハット報告の対象⇒社屋内(構内、駐車場は除く)での業務・作業、時期は問いません。(日時不詳でも構いません)

発生日時	年月日()AM/PM 時	分頃 *不詳の場合は発生時間帯を記入
どこで *番号に〇&詳細記入	①機械・工具可動部       ②組立、検査等の作業机         ③床、通路、階段       ④更玄室、玄関、社員食堂等の共有部分         ⑤その他(       )         《詳細》	【略図】省略可
何をしていた時 *番号に〇&詳細記入	①通常作業時 ②応援等の頻度の低い作業時 ③工場内移動時 ④その他( ) 《詳細》	
どうなったか		

#### 【原因:大きな原因を選択⇒2つまで選択可(報告者記入)】\*番号にO記入

1.	危険感覚の欠除	7.	機械・工具等の欠陥	1	0.	作業情報(連絡、指示等)の不適切	14.	監督、指導の不足
2.	忘却	8.	安全装置の不良	1	1.	作業方法が不適切	15.	マニュアル、標準書の不備、不徹底
3.	疲労	9.	点検整備の不足	1	2.	作業スペースの不良	16.	教育、訓練の不足
4.	睡眠不足			1	3.	作業姿勢、作業動作の欠陥	17.	その他(自由に記入)
5.	職場の人間関係						1 1 1	
6.	コミュニケーション不足						i i	

#### 【予想される事故:最も予想されるものを1つ選択(報告者記入)】\*番号にO記入

1. はさまれ・巻き込まれ	4. 爆発	7. 感電	10. 墜落·転落	15. 崩壊・倒壊	18. その他(自由に記入)
2. 切れ・こすれ	5. 破裂	8. 有害物等との接触	11. 転倒	16. 踏み抜き	; ; ; ;
3. 激突され	6. 火災	9. 高温・低温の物との	12. 激突	17. 無理な動作	
	!	接触	13. 飛来		į
		: :	14. 落下		

#### 【自己診断:①重大性②可能性の各項目の当てはまるものを1つ選択(報告者記入)】\*点数にO記入

#### \*ヒヤリ・ハット発見・体験で予想される事故や災害を自己診断してください。

重大性	点数	基準	②可能性	点数	基準
致命傷	15	死亡、失明、手足切断等の重篤災害	確実である	6	かなりの注意力でも災害になる
重傷	9	骨折等長期療養が必要な休業災害、障害 が残る	可能性が高い	4	通常の注意力では災害につながる
軽傷	5	上記以外の休業災害 (医師による措置が必要)	可能性がある	2	うっかりしていると災害になる
軽微	1	軽い切り傷、打撲	ほとんどない	1	通常の状態では災害にならない

#### 全従業員記入 ~アンケート(保護眼鏡意識調査)にご協力ください~ 【Yes・No】に〇を記入

- Q1:保護眼鏡が必要な作業(有機溶剤・接着剤等化学物質取扱い、ろう付け作業、粉じん作業等)を 行なっていますか?【Yes・No】 Yes→Q2以降を回答 No→アンケート終了
- Q2:保護眼鏡着用の指定を受けた作業は保護眼鏡を着用していますか?【Yes·No】
- Q3:保護眼鏡着用のルールを知っていますか?【Yes・No】
- Q4:保護眼鏡着用について職場で指導を受けたことがありますか?【Yes·No】
- Q5:保護眼鏡着用は必要だと思いますか?【Yes·No】

ロール指摘	語	指示事項			
管理者パトロール指摘事項及び処置確認書	時間	是正担当是正期限			ē
置確認書	?				
		是正状況			
		確認日			

管理者(部門長)パトロ	パトロール実施要領 工場	確 認 作 成事務局/課長/係長/主任
文書番号		
	工場における管理者パトロールについて適用する。	用する。
<ul><li>自 的</li><li>1 ) 設備、作業方法について、危険配</li><li>2 ) 不安全行動の摘出。</li><li>3 ) か会を確しの基準によって・ルク</li></ul>	2017、后険個所の摘出及び、環境衛生上の問題点の摘出及び改善指導。 #ロ4・**・*	B点の摘出及び改善指導。
	ハルンエップ。 -関する事項	
使用機器類		
作業中順	作 業 內 呦	を 繋 ボイソト ( 浜 縣 低 )
① 薾 改	主催者 事務局 実施者 経営層・係長以上	
② 辑 能	1回以上/月	
<b>脚</b>	① パトロールを実施 ② 目的に沿って、指摘・指導を行う ③ パトロール結果の報告及びまとめ	
4 記 録	① 管理者パトロール記録を作成する。 ② 管理者パトロール記録を部門内に周知する。 る。	
	③ 管理者パトロール記録は3年間保管する。	
(6) 7×0-	・ パトロール結果は、部門安全衛生会議等 で活用し、安全衛生活動向上に役立てる	
	・ 対策・処置が必要なものはリスクアセス メント・改善提案書を作成し、安全対策 を計画的に実施する。	
	・関係部門はバトロールの結果による、対 策・処置内容について、安全衛生委員会 等で報告する。	
⑤ 関連記録の書式	<ul><li>経営者パトロール指摘事項及び処置確認</li></ul>	
	・ 管理者バトロール記録	
く安全からの観点>		<関連規程等>
<emsからの観点></emsからの観点>		く使用する様式類>
	事業場	rev. 2
	Ben de	作成